



学校だより

第3号

令和6年3月11日発行

神奈川県立えびな支援学校

今年度もいよいよあとわずかとなりました。保護者の皆さまには日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき本当に感謝しております。

今年度は地域の小中学校との居住地交流や地域サロンへの参加、よつば祭では近隣の小中学校の来校などたくさんの地域交流が実現しました。3学期には中央農業高等学校生が研究発表した「和牛甲子園」で、えびな支援学校との取り組みが高く評価され、全国2位にあたる優秀賞を受賞したとの話も聞きました。本校の児童生徒だけではなく、関わる人たちがお互いに成長のきっかけになるよう、地域との交流を充実させていきたいです。また、今年度から始めましたインスタグラムもフォロワーも増えてきて、コメントもいただけるようになりました。いつも閲覧ありがとうございます。今後も様々な情報発信をしながら地域に必要な学校として取組を深めていきます。(B高学部長 室伏)

B部門 小学部5・6年生

B小5・6年では2月1日に、海老名市消防本部へ行きました。消防署では、救急車や消防車の見学、レスキュー車やはしご車の乗車体験などをしました。レスキュー車では、高い座席によじ登り、後部座席に座って、たくさんの機材に囲まれながら出動する感覚を味わったり、はしご車では、地上から30メートルの高さまではしごが伸び、海老名市街を一望したりすることができました。また、消防服を着たり、火事の時に使用する放水ホースを持ったりと、普段の生活では経験できない体験をしました。見学、体験中に救急車の出動が3回あり、救急車が出動するまでの実際の状況を見ることもでき、貴重な体験を通して、消防署の役割を知り、防災や安全についての学びを深めることができました。



B部門 中学部2年生

B中2年生は1月19日に校外学習で『かまぼこの里』に行ってきました。かまぼこの里では「あげかまづくり体験」ができるとのことで、事前に、工程が似ている「はんぺんボール」を調理実習でばっちり練習してから行きました。体験では、学習の成果が出て、みんな上手に「もみもみ」、「こねこね」してあげかまを完成させました。そして、揚げたてのあげかまを冷ましながらおいしそうに食べていました！帰りは、風祭駅から電車で厚木駅まで乗って、厚木駅からは徒歩で帰ってきました。学校到着時はさすがにみんな疲れていましたが、達成感があって表情はとてもよかったです。中学部2年生最後の校外学習として、体験を楽しみ、無事に帰ってくることができました。



A部門 小学部

校外学習でボウリングに行ってきました。雪で延期になり、待ちに待った校外学習でした。その分、学校での練習をたっぷり行うことができました。にぎやかな音に包まれながら本番でもいつもどおり、いえいえ、いつも以上の力を発揮！投球台のコースを定めて・・・自分の力で・・・など、それぞれのペースでボウリングを楽しむことができました。真剣な顔、笑顔、ちょっと残念そうな顔など、みんなの想いが伝わる表情がたくさんみられました。

ランチはレストランで、どんぶりやオムライス、ジュースなど自分が食べたいものをオーダー！頭と体をいっぱい使った後のみんなは、食欲もりもりでした。この仲間に出かける最後の校外学習を思いっきり楽しんできました。



B部門 高等部1年生

B高1年、社会・理科では「古代の人々の暮らしを知ろう」という学習をしました。1月10日、中央農業高校に行きドングリ集め。新春の穏やかな光に包まれながら、皆夢中になって拾いました。学校に戻り、石でドングリを砕きました。ドングリは意外と固く、汗だくになりながらコンコンと叩き続けました。1月26日「旧石器ハテナ館」に行き、火おこし体験。友達と一緒に息を合わせて一本の縄を引っ張ります。ポツと着いた火に「わ～」という歓声があちこちであがりました。古代人の生活の苦勞を学び、現在の豊かさにしみじみと感謝の思いが沸き上がる一日でした。

